

戯曲に関わるすべての人に開かれたセミナーです。

「日本の戯曲研修セミナー」は、日本演出者協会が、演出家が戯曲を読み解き、演出の方法を探るため企画したものです。そして、その前身である「日本の近代戯曲研修セミナー」には、演出家のみならず、毎回多くの劇作家や俳優が参加し共に学んできました。これは演出家はもちろん、戯曲に関わる方、戯曲に関心がある方、戯曲の読み解き方を知りたい方、すべての人に開かれたセミナーです。多くのみなさまの参加をお待ちしております。

研修 8 回 + 発表 2 回

9月8日(土) 13:00 - 18:00	第 1 回「戯曲に触れる」
9月13日(木) 18:00 - 21:00	第 2 回「作家を知る」 ～60年代演劇の熱を語る1～(19:30開始予定) ゲスト：渡辺えり
9月16日(日) 13:00 - 18:00	第 3 回「戯曲を読み込む」 ～60年代演劇の熱を語る2～(16:00開始予定) ゲスト：高取英、大久保鷹
9月21日(金) 18:00 - 21:00	第 4 回「戯曲と演技 - テキストが求める〈理想の俳優〉」
9月24日(月・祝) 13:00 - 18:00	第 5 回「唐と別役のドラマツルギーを探る」 講師：清末浩平、丸尾聡
9月26日(水) 13:00 - 21:00	第 6 回「リーディング発表に向けて」
9月27日(木) 13:00 - 21:00	第 7 回「リーディング発表に向けて」
9月28日(金) 13:00 - 21:00	第 8 回「リーディング発表に向けて」
9月29日(土) 13:00 - 18:00 (当日事前リハーサル有)	ドラマリーディング発表
9月30日(日) 13:00 - 18:00 (当日事前リハーサル有)	ドラマリーディング発表

研修参加者のリーディング出演は、研修中に相談の上、決定します。舞台経験の有無は問いません。

会場：本多スタジオ (9月21日のみ芸能花伝舎)

研修費：5,000円 (テキスト費込み)

※日本演出者協会会員は無料

※1回ごとの参加も歓迎します。参加費：800円 / 1回

「読む」

演出家同士で声に出して読んでみる。そこに劇作家や俳優も加わる。自宅でも稽古場でもないところで、戯曲が立ち上がる。

「話す」

戯曲について話してみる。「これってこういうことじゃ」「えーと、わからん」戯曲を読み解く手がかりが見えてくる。

「学ぶ」

その戯曲が生まれ、上演された現場や時代を知る人、研究している人から話を聞いてみる。戯曲の、作家の「本質」が姿を現してくる。

「発表」

読み、話し、学んだことを形にしてみる。リーディングの演出、出演を通して、戯曲を共有、実感して、さらに理解を深め面白い。

ゲストプロフィール



渡辺えり (わたなべえり)

劇作家・演出家・女優。1955年、山形県生。「オフィス 300」"渡辺流演劇塾"主宰。1983年に『ゲゲゲのげ』で岸田國士戯曲賞、1987年『嘘の女 まだ見ぬ海からの手紙』で紀伊國屋演劇賞。女優として『shall we ダンス?』で日本アカデミー賞最優秀助演女優賞。日本劇作家協会会長。



大久保鷹 (おおくぼたか)

1965年「状況劇場」入団、街頭劇『ミシンとコモリ傘の別離』でデビュー。李礼仙や根津基八らと一時代をつくり、60・70年代の演劇アンラシーンで活躍。その後、舞台から離れ「伝説の怪優」と呼ばれるが、1988年劇団「唐組」旗揚げで、13年ぶりに復帰。『唐版・風の又三郎』には74年初演、新宿梁山泊の再演にも出演。



高取英 (たかとりえい)

劇作家、演出家、マンガ評論家。大学卒業後、寺山修司の取材・出版スタッフとなる。劇作家として活動の後、86年に劇団「月蝕歌劇団」を旗揚げ、自作の他、幻想文学、マンガ作品を月蝕歌劇団で演劇化。大正大学表現学部客員教授。著書「聖ミカエラ学園漂流記」「寺山修司 過激なる疾走」ほか。



中津留章仁 (なかつるあきひと)

作家、演出家、劇団「TRASHMASTERS」主宰。主な作品に、『黄色い叫び』『そぞろの民』『たわけ者の血潮』など。青年劇場、民藝、青年座など外部への脚本提供も多い。千田是也賞、紀伊國屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞選考委員特別賞など受賞多数。日本劇作家協会副会長。



坂手洋二 (さかてようじ)

劇作家、演出家。山崎哲の「転位・21」に参加後、1983年、横光群を旗揚げ。「プレスレス ゴミ袋を呼吸する夜の物語」岸田國士戯曲賞、「だるまさんがころんだ」鶴屋南北戯曲賞、「櫻根裏」読売文学賞、「天皇と接吻」読売演劇大賞最優秀演出家賞等受賞多数。日本演出者協会副理事長。日本劇作家協会理事。

9月29日(土) 13:00 - 18:00

■ドラマリーディング

『カンガルー』作：別役実

『唐版・風の又三郎』作：唐十郎

■シンポジウム

「別役実と唐十郎を語る 1」

中津留章仁、笠浦静花、森田あや、川口典成
聞き手：丸尾聡

9月30日(日) 13:00 - 18:00

■ドラマリーディング

『カンガルー』作：別役実

『唐版・風の又三郎』作：唐十郎

■シンポジウム

「別役実と唐十郎を語る 2」

坂手洋二、笠浦静花、森田あや、丸尾聡
聞き手：川口典成

★両日とも終了後、懇親会あり

会場：本多スタジオ

入場料：1,500円 (要予約)

※日本演出者協会会員は無料

リーディング演出 ※担当作品は研修中に決定します。



笠浦静花 (かさうらしずか)

劇団やみ・あがりシアター主宰

東京大学在学中の2012年に「ヒトのやんでるところとあがってるところを両方、病気が治ったばかりのようなハイテンションでお届けしたい」と、やみ・あがりシアターを旗揚げ。以降すべての作品の脚本・演出をつとめる。日本演出者協会主催「若手演出家コンクール2017」にて優秀賞受賞。



森田あや (もりたあや)

らまのだ主宰

神奈川県生まれ。桐朋学園短期大学演劇科を中退、青年座研究所にて演劇を学ぶ。2015年劇作家南出謙吾と「らまのだ」を旗揚げ。以降、全公演での演出を手掛ける。日本演出者協会主催「若手演出家コンクール2016」にて優秀賞受賞。

「聞く」

ドラマリーディングで戯曲を聞く。肉声を通して戯曲が立ち上がる。会場で戯曲を「共有」し、シンポジウムを楽しむ。